

北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科

一般選抜・社会人特別選抜 冬期日程

博士後期課程 学生募集要項

2021 年度 4 月入学



目次

《アドミッションポリシー》	1
1. 実施日程	4
2. 募集人員	4
3. 出願資格	5
4. 出願手続	6
5. 選考方法および試験科目	9
6. 試験方法	11
7. 受験上の注意	11
8. 合格発表	11
9. 入学手続	11
10. 入学に関する経費	12
11. 授業料	12
12. 長期履修学生制度	12
13. 安全保障輸出管理について	13
14. その他	13
《授業科目の概要》	14
《各専攻における履修コースの教育研究内容・特別研究指導教員》	16
○環境システム専攻	
資源化学システムコース	17
バイオシステムコース	18
環境生態システムコース	18
○環境工学専攻	
機械システムコース	19
建築デザインコース	20
○情報工学専攻	
計算機科学コース	21
融合システムコース	21

●環境システム専攻

コース名	求める学生像	求める能力		
		①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
資源化学システム	<p>○エネルギー・環境・資源をはじめとする科学分野に関心を持ち、化学・環境技術者・研究者として世界をリードすることを目指している人</p> <p>○革新的な新技術や新たな理論を開発・構築することを目指している人</p>	<p>○高度な化学・環境工学を研究する上で十分な知識を有している。</p> <p>○エネルギー・環境・資源に関する諸問題を解決するための明確なビジョンを有している。</p> <p>○高度な学術論文の執筆や専門家と討議するための十分な語学力を有している。</p>	<p>○エネルギー・環境・資源をはじめとする諸分野における課題の本質を見抜き、その重要度・緊急性に応じて、高度な見地から解決策を講じる優先順位を判断する力を身につけている。</p> <p>○エネルギー・環境・資源をはじめとする諸分野における課題への解決策を、高度な見地から、論理的に複数の可能性を考慮した上で導き、それを他者に明確に伝える力を身につけている。</p>	<p>○エネルギー・環境・資源をはじめとする科学分野に強い関心を持ち、多角的・総合的な視点とともに主体的に研究する意欲と周囲を導く行動力を持っている。</p> <p>○自己の専門・非専門を問わず、他者との協議・討論を通して課題解決の手法を複数見出し、協働を通して課題解決に導く力を身につけている。</p>
バイオシステム	<p>○化学と生物学を基盤とした、環境・生命・医療などに関する専門的かつ創造的・実践的知識の習得を目指している人</p> <p>○環境・生命・医療などの分野における国際的な場で活躍できる高い能力を身につけた科学者、研究者、教育者を目指している人</p>	<p>○環境、社会や生態系に配慮しながら技術開発を進める専門的知識・技能を有し、それを洗練させる上で重要な幅広い知識も習得している。</p>	<p>○環境・生命・医療などの分野における様々な問題の本質を見抜く思考・判断力を有し、さらに研究活動を通じて得られた成果を、論文・学会などで適切に発表する能力を身につけている。</p>	<p>○環境・生命・医療などの分野における諸問題に対して、国内外の研究者との積極的な議論を通して、課題解決を図る姿勢を有している。</p>
環境生態システム	<p>○地域やアジア諸国をはじめとする発展途上国における環境社会システム構築のために活躍できる研究者および教育者を目指している人</p> <p>○持続可能な社会構築のためより高度な専門的知識の習得を目指している人</p>	<p>○環境調査、環境計画、生態系管理の基礎となる自然科学および数理分野の専門的学力を有し、環境社会や自然共生社会の発展をリードできる創造的・実践的知識の素養を持っている。</p> <p>○社会・環境フィールド調査、環境シミュレーション、環境マネジメントに関わる専門的技術・手法を使って、自立して問題を解決する能力の素養を持っている。</p>	<p>○現実の環境問題に柔軟に対応し、国際環境社会の中で広い視野をもって高度な学術研究の立場から問題に対処できる思考力と判断力の素養を持っている。</p>	<p>○環境問題に関わる資源、エネルギー、自然生態系、経済、経営などの分野にも広い関心を持ち、高度な見地から先端的研究を実践する素養を持っている。</p> <p>○学会や企業、行政など関係する機関と協力して先進的、国際的な環境問題の解決に自立的に取り組む素養を持っている。</p>

●環境工学専攻

コース名	求める学生像	求める能力		
		①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
機械システム	<p>○環境負荷の低減と経済発展の両立を“持続可能な開発”と捉えるとともに、高度な機械システム技術を活用しながら、国際的・学際的に活躍できる研究者および教育者を目指している人</p> <p>○機械工学に関する高度な専門性を活用する努力をいとわない人</p> <p>○創造力と自主性を備え、先端研究分野に挑戦する意欲を持っている人</p>	<p>○機械工学分野の専門的な知識および技術を修得しており、より高度な専門性を身につけるための学力と適性を有している。</p> <p>○機械研究者・教育者に必要な基本的な教養と倫理観を身につけている。</p> <p>○日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。</p>	<p>○機械工学の課題を高度な見地から論理的に思考、判断して解決するための能力を持ち、自分の考えや課題の検討結果などを他者に的確に伝えることができる。</p>	<p>○機械工学に関する課題に対し、高度な見地から主体性を持って多様な人々と協働して取り組むことができる。</p>
建築デザイン	<p>○未来へ繋がる建築を実現できる高度な専門知識と国際的な場で活躍できる高い能力の習得を目指している人</p> <p>○技術の分かるデザイナー、デザインの分かる高度専門職業人および特に研究者を目指している人</p>	<p>○建築学を過去から未来へ繋がる豊かな人間環境と空間形成として理解し、総合的な視点から建築学の本質を理解し、その高度専門知識を持っている。</p> <p>○建築を安全にする能力、快適な空間を提供する能力、芸術性を表現する能力、クライアントに自分の提案を表現する能力等、高度建築技術者に必要な種々の能力を持っている。</p>	<p>○建築学における社会的事象に対して国際的視点から課題を抽出して、その解決のための自らの思考・判断のプロセスを説明し、それを学会、国際会議、修士論文発表を通して研究発表できる能力を持っている。</p>	<p>○地域や組織の中で他者と協力して計画的にプロジェクトをまとめ、修士論文、作品などを完成させる能力を有すると共に、環境との調和を考慮して、技術者の倫理観に基づく問題解決の意欲、態度を持っている。</p>

●情報工学専攻

コース名	求める学生像	求める能力		
		①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
計算機科学	<p>○計算機科学、特に、人工知能、映像・画像処理、ネットワーク、情報セキュリティ、モデリングに関する高度な専門知識と技能の活用を目指している人</p> <p>○国際的な場で活躍できる高い能力を身につけた指導的な研究者および教育者を目指している人</p>	<p>○情報系工学に関する総合的な専門知識を有し、計算機科学、特に、情報通信、情報処理、情報セキュリティ、ソフトウェアに関する専門知識を有している。</p> <p>○情報化社会の要請に応じ、計算機科学の応用分野であるネットワーク、映像・画像処理の主要なシステムを設計し、実装する技能を持っている。</p>	<p>○計算機科学分野の課題について、解決法を企画・立案し、実践の結果を評価して結論を導き出し、これらの過程を学術論文としてまとめて発表する能力を持っている。</p>	<p>○計算機科学分野において、地域社会や組織の中で他者と効果的なコミュニケーションをとり、社会的責任感と倫理観に基づき、自律的に問題解決に取り組む行動力を持っている。</p>
融合システム	<p>○電子・集積回路、計測制御、ソフトウェア、また、これらの融合系であるロボット、生体情報システムに関する高度な専門知識と技能の活用を目指している人</p> <p>○国際的な場で活躍できる高い能力を身につけた指導的な研究者および教育者を目指している人</p>	<p>○情報系工学に関する総合的な専門知識を有し、電子・集積回路、計測制御、ソフトウェア、また、これらを融合したシステムに関する専門知識を有している。</p> <p>○情報化社会の要請に応じ、電子・情報・計測制御の融合分野であるロボット、生体情報システムの主要なシステムを設計し、実装する技能を持っている。</p>	<p>○電子・情報・計測制御工学の融合分野の課題について、解決法を企画・立案し、実践の結果を評価して結論を導き出し、これらの過程を学術論文としてまとめて発表する能力を持っている。</p>	<p>○電子・情報・計測制御工学の融合分野において、地域社会や組織の中で他者と効果的なコミュニケーションをとり、社会的責任感と倫理観に基づき、自律的に問題解決に取り組む行動力を持っている。</p>

1. 実施日程

出願期間	2020年12月7日(月)～12月18日(金)
受験票発送	2021年1月5日(火)頃
試験日	2021年1月24日(日) ※災害等で試験を予定どおりに実施できない場合は、試験日程の変更を行う可能性があります。試験日程の変更を行う場合は本学ホームページにてお知らせします。 https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/graduate/env-info.html
試験方法(注1)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、インターネットを利用して自宅などから受験する、オンライン選抜試験を実施します。
合格発表日	2021年2月5日(金)
入学手続期間	2021年3月9日(火)～3月15日(月)

(注1) オンライン面接に関わる具体的な調整事項については、各コースの教員より、後日出願者に連絡します。

2. 募集人員

研究科名	専攻名	コース名	募集人員
国際環境工学研究科	環境システム専攻	資源化学システム	若干名
		バイオシステム	若干名
		環境生態システム	若干名
	環境工学専攻	機械システム	若干名
		建築デザイン	若干名
	情報工学専攻	計算機科学	若干名
		融合システム	若干名

《社会人の受入について》

国際環境工学研究科においては、職業上必要な新しい知識・技術を求める社会人や実社会で身につけた実践的な知識・技術を学際的に更に高めていくことを希望する社会人を受け入れるにあたり、夜間その他特定の時間又は時期においても授業・研究指導を行います。

3. 出願資格

一般選抜・社会人特別選抜

次の各号のいずれかに該当する者
ただし、社会人特別選抜については、教育機関又は研究機関・官公庁・企業等において、
2021年3月31日までに2年以上の専門に関する勤務経験を有する者（現在在職していなくても過去に2年以上の勤務経験があれば可）に限る。

- (1) 修士の学位を有する者及び2021年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2021年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2021年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2021年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）（注）
「大学を卒業、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院国際環境工学研究科運営委員会（以下「本研究科委員会」という。）において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者」
- (6) 本研究科委員会において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者及び2021年3月31日までに満24歳に達する者（注）

（注）出願資格(5)または(6)によって出願する場合は、事前に**入学資格審査**を行います。
対象となる方は、必要書類を審査受付期間終了までに入学試験係へ提出してください。

【入学資格審査について】

- (a) 提出書類
 - 入学願書（様式1）
 - 研究領域等希望調査書（様式5）
 - 入学資格審査申請書（様式6）
 - 最終学歴の成績証明書
 - これまでの業績や研究内容等を説明できるもの
- (b) 審査受付期間
2020年10月22日（木）まで
- (c) 提出先 および 問い合わせ先
北九州市立大学事務局学務課入学試験係
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1番1号
TEL: 093-695-3340 E-mail: nyushi@kitakyu-u.ac.jp
※郵送の場合は、「入学資格審査申請書在中」と朱書きしてください。
- (d) 審査結果の通知
本人に郵送で通知します。

4. 出願手続

日本国内からの出願者は、以下の提出書類を郵送（速達簡易書留）にて、出願期間内に到着するように発送してください。

海外からの出願者は、以下の提出書類を出願期間内にEMS等にて発送してください。
また、発送前に、PDF化した提出書類を以下の出願期間内に学務課入学試験係へメールに添付して送信してください。

- (1) 出願期間 2020年12月7日（月）～12月18日（金）
- (2) 受付時間（土曜、日曜、祝日を除く）
（窓口受付）平日：午前8時30分～午後4時00分（最終日は午後5時00分まで）
（郵送）2020年12月19日（土）以降に郵送により到着したものについては、
2020年12月17日（木）までの消印がある場合に限り受理します。
- (3) 提出先
北九州市立大学事務局学務課入学試験係
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1番1号
TEL: 093-695-3340 E-mail: nyushi@kitakyu-u.ac.jp

(4) 提出書類関係

提出書類名	説明
入学願書（様式1）	本学所定の様式を用いて、太枠内に必要事項を記入してください。 ※縦4cm×横3cmサイズ、上半身、無帽、無背景、正面向きで、出願前3ヶ月以内に撮影した写真の裏面に氏名を記入の上、所定の欄にしっかり貼付してください。白黒、カラーを問いません。
受験票（様式2）	本学所定の様式を用いて、太枠内に必要事項を記入してください。
写真票（様式3）	本学所定の様式に必要事項をもれなく記入してください。貼付写真については『入学願書』の説明と同じです。
宛名カード（様式4）	国内在住者用か海外在住者用のどちらかに、受験票・合格通知・入学手続関係書類等を受け取る郵便番号、住所、氏名（本人名に限る）を正確に記入してください。
研究領域等希望調査書（様式5）	<u>出願前に必ず、希望する指導教員に連絡してください。</u>
入学希望理由書	A4サイズで1枚程度、様式自由。必ず氏名・志望専攻・コース名を記入してください。
受験票送付用封筒	374円分の切手を貼付した定形封筒（長形3号）に返信送付先宛名を記入したもの。（日本国内在住者のみ）
出身大学等の成績証明書	出身大学院または在籍している大学院が発行した成績証明書を提出してください。 * 大学院修士課程を修了していない者（大学院在学中の者を除く）は最終学歴の成績証明書を提出してください。 * 日本語または英語以外で記載されている成績証明書は、日本語または英語に翻訳したものを添付してください。

提出書類名	説 明
出願資格を証明する a, b のいずれかの書類	a. 出身大学院等発行の修士課程修了証明書又は修了見込証明書 (又は在学証明書) b. 入学資格審査結果通知書 (本研究科委員会において、入学資格事前審査 により認定された者)
入学検定料 (¥30,000)	<p>【日本国内在住者】 郵便局にて 30,000 円の郵便為替を購入し、同封してください。 ※郵便為替には何も記入しないでください。</p> <p>【海外在住者】 ※日本円に限る 入学検定料 30,000 円を下記の口座に振込み、「振込控のコピー」を願書と 一緒に送付してください。</p> <p>銀行名：福岡銀行。 銀行コード：FKBKJPJT 支店名：北九州営業部 銀行所在地：北九州市小倉北区堺町 2-2-18 口座番号：2555152 受取人名： 公立大学法人北九州市立大学理事長 津田純嗣</p> <p>*海外送金時銀行手数料：送金人負担</p> <p>注：振込みの際にかかる手数料は自国内の銀行と日本の銀行の両方にかかりますが、 どちらも振込者本人の負担となります。北九州市立大学が指定している福岡銀行の手数 料は 2,500 円です。自国内の銀行手数料は、ご自身で確認してください。</p>
※対象コース ・ 計算機科学コース ・ 融合システムコース TOEIC(TOEIC L&R)公式 認定証、TOEIC(TOEIC L&R)-IP テストスコアレ ポート、TOEFL-iBT スコ アレポートのいずれかの 書類	<p>スコア提出を課しているコースの志願者は提出してください。 出願時から遡って 24 カ月以内に受験して得たものとします。 (5. 選考方法および試験科目参照)</p> <p>①TOEIC(TOEIC L&R)公開テストのスコア利用者は「Official Score Certificate (公式認定証)」の原本と写しを提出してください。</p> <p>②TOEIC(TOEIC L&R)-IP テスト (団体特別受験制度) のスコア利用者は、 「スコアレポート (個人成績表)」の原本と写しを提出してください。 *本学主催または本学大学生協主催のものに限り認めます。</p> <p>③TOEFL-iBT のスコア利用者は、「受験者用スコアレポート」の原本と 写しを提出してください。 *スコアは、必ず「受験者用スコアレポート」を提出してください。 「公式スコアレポート」は受け付けません。</p> <p>【その他】 *提出された原本は、後日返却します。</p> <p>*出願時に①～③の提出が間に合わない場合は、代わりにその受験票の 写しを提出の上、試験前日 (土曜、日曜、祝日を除く) までに①～③ のいずれかの原本と写しを提出してください。</p> <p>*出願時にスコアを提出しているもの限り、試験前日 (土曜日、日曜 日、祝日を除く) までに高得点のスコアを提出することで、スコアの 更新ができます。</p>
※外国籍のみ 住民票 または パスポートの写し	<p>日本在住：住民票 (出願 1 ヶ月前以内に作成したもの) 海外在住：パスポートの写し (顔写真及び有効期限が記載されたページ)</p>

※社会人特別選抜の志願者はさらに下記の書類が必要となります。

提出書類名	説明
在職証明書	勤務先が発行したもの（様式任意） *勤続経験2年以上であることが証明できるもの

【出願上の注意】

- ・出願受付後は、いかなる事情があっても出願内容の変更及び入学検定料の返還には応じられません。
- ・虚偽の記載があった場合は、たとえ合格しても入学許可を取り消します。
- ・いったん正当に受理した出願提出書類等は返却できません。
- ・2021年3月までに出席資格要件を満たす見込みで受験し合格した者が、所定の要件を満たすことができなかった場合は、入学許可を取り消します。

【身体に障害を有する場合等の受験上の特別措置について】

身体に障害を有するなど、受験上及び就学上特別な配慮を必要とする入学志願者は、その措置を講ずるための審査が必要となりますので、事前に相談のうえ出願2週間前までに必要書類を添えて申し出てください。審査の結果、必要と判断された措置の内容を通知しますので、その通知書を添えて出願いただくこととなります。

《問い合わせ先》

北九州市立大学事務局学務課入学試験係

〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1番1号

TEL: 093-695-3340 E-mail: nyushi@kitakyu-u.ac.jp

【入学検定料の免除について】

北九州市立大学では、令和2年7月豪雨、令和元年台風第19号、平成30年北海道胆振東部地震、平成30年7月豪雨、平成28年熊本地震に伴う被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学機会の確保を図るため、2020年度に実施する入学試験において、次のとおり入学検定料免除の特例措置を実施しています。

連絡先 北九州市立大学学務課入学試験係 TEL: 093-695-3340

ホームページアドレス

<https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/tuition/absolution.html>



【個人情報の取扱いについて】

本学が所有する個人情報は、関係法規に基づき慎重に取扱い、以下の目的以外で利用すること、または第三者に提供することはありません。

- ・志願者の氏名、生年月日、連絡先などの個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続、調査研究及びこれらに付随する業務の遂行に利用します。
- ・合格者の個人情報は、入学手続者に対する入学前指導、入学後の教務関係、学生支援関係、授業料徴収関係などに関する業務のために利用します。

5. 選考方法および試験科目

【選考方法】

試験科目結果、出願書類等を総合して行います。(社会人特別選抜の選考については、社会人としての経歴・研究歴および研究内容を特に重視した選考を行います。)

【試験科目】

◆環境システム専攻

○資源化学システムコース

試験科目	時 間
口頭試問・面接（これまでの研究成果の発表および当大学院での研究計画の発表を含める） （ファイル共有機能などによる発表形式）	別途連絡

○バイオシステムコース

試験科目	時 間
口頭試問・面接（これまでの研究成果の発表および当大学院での研究計画の発表を含める） （ファイル共有機能などによる発表形式）	別途連絡

○環境生態システムコース

試験科目	時 間
口頭試問・面接（これまでの研究成果の発表および当大学院での研究計画の発表を含める） （ファイル共有機能などによる発表形式）	別途連絡

(注) 日本語ないし英語の語学能力を証明する書類を持っている人は、試験当日持参してください。

(例：日本語能力試験のスコア、TOEIC(TOEIC L&R)スコアまたは TOEFL-iBT スコア等)

※必須ではありません。

◆環境工学専攻

○機械システムコース

試験科目	時 間
口頭試問・面接（注） （ファイル共有機能などによる発表形式）	別途連絡

（注） 一般選抜 : 修士論文について
 社会人特別選抜 : 修士論文または過去の研究成果について

○建築デザインコース

試験科目	時 間
口頭試問・面接（これまでの研究成果の発表および 当大学院での研究計画の発表を含める） （ファイル共有機能などによる発表形式）	別途連絡

◆情報工学専攻

○計算機科学コース

○融合システムコース

試験科目	時 間
英語（注1、注2）	—
口頭試問・面接（これまでの研究成果の発表および 当大学院での研究計画の発表を含める） （ファイル共有機能などによる発表形式）	別途連絡

（注1） 英語は TOEIC(TOEIC L&R)スコアまたは TOEFL-iBT スコアの提出を課します。

（注2） 英語査読論文を有する実績、学歴、研究経歴等により免除することがあります。
 希望者は、以下の通り申請が必要です。

- a. 提出書類
 - 入学願書（様式1）
 - 英語試験免除申請書（様式7）
 - 査読論文（コピー）※複数可
- b. 審査受付期間
2020年10月22日（木）まで
- c. 提出先
 北九州市立大学事務局学務課入学試験係
 ※郵送の場合は、「英語試験免除申請書類在中」と朱書きしてください。
- d. 審査結果の通知
 本人に郵送で通知します。

《問い合わせ先》 北九州市立大学事務局学務課入学試験係
 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1番1号
 TEL : 093-695-3340 E-mail : nyushi@kitakyu-u.ac.jp

6. 試験方法

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、インターネットを利用して自宅などから受験するオンライン選抜試験を実施します。

※オンライン面接に関わる具体的な調整事項については、各コースの教員より、後日出願者に連絡します。

7. 受験上の注意

- (1) オンライン試験時、受験票の提示を求めます。受験票が試験日の3日前までに未着の場合は、学務課入学試験係 (nyushi@kitakyu-u.ac.jp) にご連絡ください。
- (2) 試験開始20分前までにインターネットに接続できる状態にしておいてください。

8. 合格発表

以下日時に、合格者の受験番号をホームページに掲示するとともに、合格者のみに合格通知を送付します。なお、受験者本人であっても、電話による合否に関する照会には一切応じられません。

合格発表日時	2021年2月5日(金) 午前10時
合格発表場所	北九州市立大学ホームページ https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/pass-information.html

9. 入学手続

入学手続に関する詳細については「合格通知」送付の際にお知らせいたします。

入学手続期間	2021年3月9日(火)～3月15日(月)
--------	-----------------------

- (注1) いったん納入された入学金は、いかなる理由があっても返還できません。
- (注2) 期間内に入学手続を完了しなかった場合は、入学辞退として取扱います。
理由のいかんを問わず、入学手続期間の延長は行いません。
- (注3) 期間内に、入学金の納入、必要書類の提出を完了した者に入学を許可します。
- (注4) 入学手続には、受験票が必要です。大切に保管しておいてください。

10. 入学に関する経費 (注1)

種 別	金 額	備 考
入 学 金	北九州市内居住者 282,000 円	(注2)
	北九州市外居住者 423,000 円	
同 窓 会 費	50,000 円	本学卒業生で、既に納めている方は不要
後 援 会 費	30,000 円	
学生教育研究 災害傷害保険料	3 ヶ年分 2,600 円	
学研災付帯賠償 責任保険料	3 ヶ年分 1,020 円	

(注1) 経費は現行(2020年度入学者)の金額です。変更されることがあります。

(注2) 北九州市内居住者とは、入学する本人又はその配偶者もしくは2親等内の親族が、入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者(又は、市民税非課税者)であり、かつ入学金納入のときまで引き続き北九州市内に住所を有する者をいいます。なお、「入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者(又は、市民税非課税者)」であるためには、2020年1月1日現在北九州市に在住していることが必要です。
※同窓会費・後援会費・保険料については、入学の必須条件ではありません。

11. 授業料

年間授業料 535,800 円

- (1) 現行の金額です。在学中に授業料及び納入方法等の改定が行われた場合には、改定時から適用されます。
- (2) 授業料は、納入期限日(当日が金融機関休業日の場合は、翌営業日)に口座振替で納入していただきます。

12. 長期履修学生制度

国際環境工学研究科では、社会人学生の支援として長期履修学生制度を導入しています。長期履修学生制度とは、職業を有している等の事情によって、標準修業年限を超えて、計画的に教育課程を履修する事を認める制度です。博士前期課程においては2年・博士後期課程においては3年を限度とし、1年単位で延長が認められます。

この制度を適用する学生の授業料総額は、標準修業年限で卒業する学生が納める授業料総額と同額になります。

1 3. 安全保障輸出管理について

北九州市立大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「北九州市立大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

【参考】 URL : <http://www.meti.go.jp/policy/ampo/>

1 4. その他

《入学に際しての留意事項》

入学手続き後に在留資格が「留学」でない場合は、速やかに法務省入国管理局で在留資格を「留学」に変更してください。なお、在留資格が「留学」でない場合は、留学生に対する各種奨学金の対象にならないことがあります。

《授業科目の概要》

博士後期課程 修了に必要な単位は 12 単位以上

《内訳》

- ・ 専門科目から 6 単位以上修得すること。(専攻を横断して修得することが可能)
- ・ 特別研究科目 6 単位を修得すること。

【環境システム専攻】

《専門科目》 (各 2 単位)	
高分子材料化学特論	生物センサー工学特論
固体材料化学特論	生態システム特論
分離精製工学特論	環境生物学特論
分光分析特論	エネルギー環境工学特論
エネルギー化学特論	分子細胞生物学特論
無機材料工学特論	都市環境マネジメント特論
化学反応工学特論	環境経営戦略特論
プロセス設計学特論	環境情報システム特論
触媒反応化学特論	環境化学特論
先端材料システム特論	資源循環技術特論
大気環境工学特論	水圏環境工学特論
資源化学システム特別講義	地圏環境修復特論
環境応答生理学特論	リサイクル工学特論
微生物機能学特論	健康リスク学特論
生物物理特論	省資源衛生工学特論
計算化学特論	アジアの環境問題特論
生体材料特論	環境言論講究
《特別研究科目》 (6 単位)	
特別研究	

【環境工学専攻】

《専門科目》 (各2単位)	
熱動力システム特別講義	世代間建築講究
流動制御システム特別講義	都市環境工学講究
設計システム特別講義	建築環境工学講究
システム制御工学特別講義	建築構造学講究
計測システム特別講義	建築構工法講究
環境共生都市づくり講究	環境設備システム講究
居住環境設計学講究	建築材料講究
環境調和型材料工学講究	低炭素建築都市デザイン講究
《特別研究科目》 (6単位)	
特別研究	

【情報工学専攻】

《専門科目》 (各2単位)	
適応信号処理特論	組み合わせ最適化特論
視覚情報処理特論	VLSI物理設計特論
パターン認識応用特論	システム制御理論特論
情報セキュリティ特論	ネットワークアーキテクチャ特論
画像処理特論	医用工学応用
移動通信特論	組込みハードウェア特論
情報通信特論	機械学習特論
《特別研究科目》 (6単位)	
特別研究	

《各専攻における履修コースの教育研究内容・研究指導教員》

※希望する研究指導教員に相談をしていない者は、必ず出願前に各コースのメールアドレスに問い合わせること。

※指導教員等は変更となる場合があります。

※希望する研究指導教員については、各コース長にご相談ください。
コース長のメールアドレスは以下の通りです。

《問合せ先》

○環境システム専攻

資源化学システムコース	shigen@kitakyu-u.ac.jp
バイオシステムコース	biosys@kitakyu-u.ac.jp
環境生態システムコース	envsys@kitakyu-u.ac.jp

○環境工学専攻

機械システムコース	kikai@kitakyu-u.ac.jp
建築デザインコース	kenchiku@kitakyu-u.ac.jp

○情報工学専攻

計算機科学コース	jyohou@kitakyu-u.ac.jp
融合システムコース	

環境システム専攻

【資源化学システムコース】

教員名	研究テーマ・領域
藍川 昌秀 Aikawa Masahide	大気科学、大気化学、大気汚染・酸性沈着に関する調査・研究 大気汚染物質と降水の物理化学的相互作用に関する研究
秋葉 勇 Akiba Isamu	高分子合成・構造・物性
朝見 賢二 Asami Kenji	固体触媒を用いる新規なクリーン燃料合成プロセスの開発 新燃料を用いるエネルギー化学システムの開発
天野 史章 Amano Fumiaki	光触媒・光電気化学に関する研究、光機能性材料や触媒の開発 太陽エネルギーの化学的変換システムの開発
大矢 仁史 Ohya Hitoshi	有価物の回収を目的としたリサイクル技術開発 リサイクル技術開発とそのシステム評価に関する研究
寺嶋 光春 Terashima Mitsuharu	水資源循環利用プロセスの新技術の研究開発 用排水処理システムのモデル化とシミュレーション利用技術の研究
西浜 章平 Nishihama Shohei	有価廃棄物からのレアメタルの分離回収プロセス 水中の有害汚染物質の分離除去プロセス
安井 英斉 Yasui Hidenari	微生物を用いた廃棄物系バイオマスの新資源化技術ならびに水処理プロセスの開発 廃棄物・水処理プロセスに関わるコンピューティングと数学モデルの開発
山本 勝俊 Yamamoto Katsutoshi	新規多孔質材料の開発と触媒への応用 有機-無機ハイブリッド型多孔体の創製
吉塚 和治 Yoshizuka Kazuharu	リサイクル・希薄資源からのレアメタルの分離回収システムの開発 環境中からの有害物質の分離除去・無害化システムの開発
黎 暁紅 Li Xiaohong	触媒化学、バイオマスなどカーボン資源から石油代替燃料の合成 Catalytic chemistry,
李 丞祐 Lee Seung-Woo	有機・無機ナノハイブリッド膜 有機・無機ナノハイブリッド材料を用いた高感度センサ開発 匂いによる疾病診断技術および診断用デバイスの開発

【バイオシステムコース】

教員名	研究テーマ・領域
磯田 隆聡 Isoda Takaaki	生物センサの開発と応用 1. 野菜や肉、魚の食品鮮度測定 2. 唾液や尿による医療診断
上江洲 一也 Uezu Kazuya	生物の特異的応答を利用した新規バイオセンサーの創製 細胞内情報経路を標的としたリン酸化タンパク質分離材料の創製 計算化学的アプローチによる分子認識材料の設計 生態系への影響を大幅に低減した林野火災用泡消火剤の開発
河野 智謙 Kawano Tomonori	DNA、ペプチド、細胞を利用したバイオセンシング、マイクロロボティクス、バイオエレクトロニクス LED を利用した植物工場技術開発と植物と微生物の環境応答の研究
木原 隆典 Kihara Takanori	幹細胞を用いた組織形成研究 骨石灰化形成過程の解明 細胞の物理解析
櫻井 和朗 Sakurai Kazuo	多糖・DNA 複合体に関する基礎研究と遺伝子キャリアーへの応用 シンクロトロンX線を用いた複合材料・ナノ材料の構造解析
中澤 浩二 Nakazawa Koji	細胞パターンニング技術および細胞マイクロチップの開発 培養微小環境と細胞分化特性の解析
原口 昭 Haraguchi Akira	生態系における生物機能解析 陸水学 植物学
森田 洋 Morita Hiroshi	地域農作物の生理的機能性と新規用途開発 室内カビ・ダニの新規制御法に関する研究 混合培養麹による清酒醸造に関する研究 液体麹による酒類醸造に関する研究

【環境生態システムコース】

教員名	研究テーマ・領域
加藤 尊秋 Kato Takaaki	環境政策の評価、社会的なリスク削減のための管理、教育、訓練手法
二渡 了 Futawatari Toru	地域環境マネジメントシステムに関する研究 東アジア地域における経済発展と環境問題に関する比較研究
松本 亨 Matsumoto Toru	循環経済システムの構築と評価に関する研究 都市エネルギーマネジメントに関する研究 市民の環境意識構造と行動変容に関する研究 アジアの都市環境マネジメントに関する研究

環境工学専攻

【機械システムコース】

教員名	研究テーマ・領域
泉 政明 Izumi Masaaki	燃料電池の性能・耐久性向上に関する研究 燃料電池性能の計測法に関する研究
井上 浩一 Inoue Koichi	次世代宇宙機用沸騰・二相流熱システムに関する基礎研究 火力原子力発電システム用熱交換器の高性能化に関する研究 パワーエレクトロニクス冷却技術に関する研究
岡田 伸廣 Okada Nobuhiro	画像を用いる三次元計測を中心としたロボット・メカトロニクス技術の開発とその応用に関する研究 駆動部を持たないレーザー光走査装置の開発 複数の自己組織化マップの協調学習に関する研究
清田 高德 Kiyota Takanori	安全で省エネルギーな機械システム制御法の開発と応用に関する研究 パワーアシストシステムの開発
佐々木 卓実 Sasaki Takumi	構造非線形および材料非線形を利用した除振要素に関する研究 機械・構造物のための振動抑制技術の開発
趙 昌熙 Cho Changhee	生体機械工学、バイオトライボロジーに関する研究 臨床用人工関節の長寿命化・高性能化に関する研究
長 弘基 Cho Hiroki	形状記憶合金の物性研究 形状記憶合金を用いた低温排熱回収システムの研究開発 形状記憶合金を用いたアクチュエータ・医療機器の研究開発
仲尾 晋一郎 Nakao Shinichiro	衝撃波と境界層の干渉流れ場の CFD 解析に関する研究 衝撃波を伴う流れ場へのレーザー干渉法の適用に関する研究
宮里 義昭 Miyazato Yoshiaki	超音速流れのデジタルホログラフィ計測法に関する研究 超音速流れのシュリーレントモグラフィ計測法に関する研究
村上 洋 Murakami Hiroshi	極小径光ファイバプローブを用いた微細三次元形状精度測定装置の開発 工作機械の知能化に関する研究 工具状態監視機能を有する超高速マイクロエアタービンスピンドルの開発
吉山 定見 Yoshiyama Sadami	イオンセンサを用いた燃焼センシング法の開発と応用に関する研究 予混合火炎の計測に関する研究

【建築デザインコース】

教員名	研究テーマ・領域
高 偉俊 Gao Weijun	建築・都市環境・計画・設計 建築・都市エネルギー・資源計画 アジア都市環境の研究
城戸 将江 Kido Masae	鋼およびコンクリート充填鋼管構造の耐震設計法 鋼およびコンクリート充填鋼管構造の安定設計法
小山田 英弘 Koyamada Hidehiro	建築物および建設工事中の安全 建築物の維持管理と各種建築材料の再利用 暑中コンクリート工事
白石 靖幸 Shiraishi Yasuyuki	建築都市空間における温熱・空気環境制御 建築設備一体化技術の最適制御 複合物理モデリングを活用した建築設備の最適設計
高巢 幸二 Takasu Koji	高強度・高耐久性セメントフリーコンクリートの研究 再生材料等を使用した高性能コンクリートの研究 建築材料としての副産物系粉体の改質技術の開発 建築材料の性能考慮型環境影響評価
デワンカー バートジュリアン DEWANCKER, Bart Julien	都市計画に関する研究 環境共生建築・都市デザインに関する研究 ランドスケープ、都市及び建物緑化に関する研究
福田 展淳 Fukuda Hiroatsu	建築デザイン、歴史的建築物に関する研究 建築計画学、都市計画学 低環境負荷のための建築設計・都市環境設計
龍 有二 Ryu Yuji	建築における自然エネルギー利用 高齢者福祉施設の温熱環境と入居者の生理・心理

情報工学専攻

【計算機科学コース】

教員名	研究テーマ・領域
上原 聡 Uehara Satoshi	情報理論、符号理論、情報セキュリティ：数学的背景に基づく符号の構成法や性能評価に関する研究
古閑 宏幸 Koga Hiroyuki	コンピュータネットワークのアーキテクチャや構築・運用技術、トラフィックエンジニアリング技術に関する研究
佐藤 敬 Satoh Takashi	情報セキュリティ：特に暗号理論とその応用に関する研究 次世代型情報通信ネットワーク：特に分散システムおよびインターネット運用技術に関する研究
孫 連明 Son Renmei (Sun Lian Ming)	制御と信号処理分野において、数学モデルを構築するシステム同定の方法論、制御系設計と適応信号処理への応用に関する研究
永原 正章 Nagahara Masaaki	数理情報学（人工知能、自動制御、機械学習など）および、それらを活用したロボット、ドローン、自動車の開発や画像処理、音楽音響処理などの研究
山崎 恭 Yamazaki Yasushi	生体認証（バイオメトリクス）を中心とした安心・安全・便利をキーワードとする情報セキュリティ技術、パターン認識技術に関する研究開発

【融合システムコース】

教員名	研究テーマ・領域
佐藤 雅之 Sato Masayuki	心理物理学の実験手法を用いた人間の視覚情報処理メカニズムの解明、特に、両眼立体視による空間知覚、眼球運動時の視野統合機構に関する研究
杉原 真 Sugihara Makoto	VLSI や組込システムを対象とした設計技術に関する研究、及び自動車 I T システム設計技術に関する研究
高島 康裕 Takashima Yasuhiro	最適化アルゴリズム、VLSI 設計自動化技術、量子アルゴリズムを含む高性能計算アルゴリズム実装
中武 繁寿 Nakatake Shigetoshi	アナログとデジタル混載集積回路の自動設計技術、低電力化技術、及び医療・防災分野におけるセンサシステムの集積技術に関する研究
早見 武人 Hayami Takehito	電気・光を用いた神経機能に関わる医用検査、手術支援、治療技術、及び人間の行動特性を調べるための心理学機器の研究
松田 鶴夫 Matsuda Tsuruo	生体情報獲得 メカトロニクス制御 脳神経磁気・電気刺激 リハビリテーション応用技術 等に関する研究